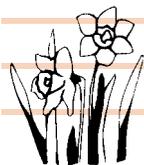


おぢや

市議会だより



NO. 82

28. 10. 25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



若船音会（わかふね会・船岡）

若船音会は船岡町を中心に活動するお囃子の団体です。小学校3年生から入会できますが、入会待ちの子どもたちがいるほど人気があります。

お祭りの時期だけでなく、冬季を除き、年間を通じて活動しています。今年のおぢやまつりは終わりましたが、来年に向けての練習が始まりました。

学年を超えた地域の結びつきを大切にして、これからも頑張っていきます。

●第3回定例会議決結果 …… P2

●常任委員会報告 …… P2～3

●一般質問 …… P4～7

●議会日誌 …… P8

●雪あかり・編集後記 …… P8

—主な掲載内容—

第3回定例会 議決結果（8月29日から9月16日まで開催）

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果
条 例	議案第60号 小千谷市住民センター条例の一部改正	全会一致	原案可決
	議案第61号 小千谷市真人ふれあい交流館条例の一部改正	〃	〃
予 算	議案第62号 平成28年度小千谷市一般会計補正予算（第2号）	賛成多数	〃
	議案第63号 平成28年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致	〃
	議案第64号 平成28年度小千谷市介護保険特別会計補正予算（第1号）	〃	〃
決 算	議案第65号 平成27年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定	賛成多数	認 定
	議案第66号 平成27年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	〃	〃
	議案第67号 平成27年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	〃	〃
	議案第68号 平成27年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	〃	〃
	議案第69号 平成27年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定	全会一致	〃
	議案第70号 平成27年度小千谷市ガス事業会計決算認定	〃	〃
	議案第71号 平成27年度小千谷市水道事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	原案可決 認 定
	議案第72号 平成27年度小千谷市工業水道事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	〃
其 他	議案第73号 平成27年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	〃
	議案第74号 平成27年度魚沼地域胃集団検診協議会会計歳入歳出決算認定	〃	認 定
	議案第76号 魚沼地域視聴覚教育協議会規約の変更	〃	原案可決
	議案第77号 魚沼地域視聴覚教育協議会の廃止	〃	〃
	議案第78号 小千谷市教育委員会委員の任命〔鈴木進五氏〕	〃	〃
請 願	議案第79号 小千谷市固定資産評価審査委員会委員の選任〔星野松栄氏〕	〃	〃
	議案第80号 新潟県市町村総合事務組合規約の変更	〃	〃
請 願	請願第2号 新潟水保病全被害者の救済と問題解決に関する請願	みなし	採 択
	請願第3号 「学費の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する請願	〃	〃
発 議	発議案第6号 新潟水保病全被害者の救済と問題解決に関する意見書	全会一致	原案可決
	発議案第7号 学費の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書	〃	〃

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択または不採択されたものとみなします。

議員賛否の状況（採決において賛否が分かれたもの）

議案番号等	議決結果	賛成	反対	森本恵理子	住安 康一	駒井 和彦	大矢 弘光	佐藤 栄作	上村 行雄	内山 博志	佐藤 隆一	長谷川有理	阿部 正行	久保田陽一	山賀 一雄	田中 淳	本田 剛	久保田久栄	風間 順一	
議案第62号	原案可決	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第65号	認 定	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第66号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第67号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第68号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○

※○は賛成、×は反対、議長（久保田久栄）は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案8件うち6件は総務文教委員会の単独審査で、2件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。また、請願1件も採択すべきものと決しました。

○議案第60号 小千谷市住民センター条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、真人住民センター機能を真人ふれあい交流館に移すことに伴い、真人住民センターを廃止するものであります。

○議案第61号 小千谷市真人ふれあい交流館条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、交流館が住民センターと同様に利用できるよう利用時間と休館日を改正するものであります。

○議案第62号 平成28年度小千谷市一般会計補正予算(第2号)について
 今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億2,8万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ196

億8117万6千円とするものです。

○議案第65号 平成27年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は174億5373万2169円、歳出決算額は165億4666万1214円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、8億7199万5955円の黒字となりました。

○議案第70号 平成27年度小千谷市ガス事業会計決算認定について

業務実績は前年度に比べ供給戸数は45件減の1万496件、供給量は8・1%減の1596万3855m³となりました。経営成績では、7744万6811円の当年度純損失となりました。

○議案第71号 平成27年度小千谷市水道事業会計の利益の処分及び決算認定について

業務実績は、前年度に比べ給水戸数は37件減の1万3761件、総有収水量は0・6%減の416万8204m³となりました。経営成績では、1億5172万891円の当年度純利益となりました。

利益の処分では、未処分利益

剰余金のうち減債積立金に1億5000万円、建設改良積立金取崩相当額1600万円を自己資本金に組み入れるものです。

○議案第72号 小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定について

業務実績は、前年度に比べ給水量は11万5215m³減の196万5387m³となりました。経営成績では、4935万6967円の当年度純利益となりました。

利益の処分では、未処分利益剰余金のうち、減債積立金に2600万円を積み立て、減債積立金取崩相当額3300万円を自己資本金に組み入れるものがあります。

○議案第73号 平成27年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定について

業務実績は、水洗便所設置済人口は3万3074人で水洗化率は93・8%となりました。前年度に比べ有収水量は2万2250m³減の351万2763m³となりました。経営成績では、4億9733万6626円の当年度純利益となりました。

利益の処分は、未処分利益剰余金のうち減債積立金に4億9700万円を積み立て、減債積

立金取崩相当額4億6479万4970円を自己資本金に組み入れるものです。

○請願第3号 「学費の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する請願

本請願は、私学助成の充実を求める意見書を関係機関に送付していただきたいというものです。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案8件について、慎重に審査した結果、議案8件全てを原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。また、請願1件も採択すべきものと決しました。

○議案第63号 平成28年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

本案は、平成27年度決算に伴う繰越金が生じたことによる、給付準備積立金の増額等で、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億6104万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ44億1003万5千円とするものです。

○議案第64号 平成28年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)について

本案は、平成27年度決算に伴う繰越金が生じたことにより、過年度分返還金の計上等で、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億1280万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ40億5471万4千円とするものです。

○議案第66号 平成27年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は42億4063万2573円、歳出決算額は40億3876万6482円で、歳入歳出差引額2億186万6091円を翌年度に繰り越すというものです。

○議案第67号 平成27年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は38億2993万9390円、歳出決算額は36億8785万2131円で、歳入歳出差引額1億4208万7259円を翌年度に繰り越すというものです。

○議案第68号 平成27年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は7億1146万8186円、歳出決算額は6億9269万5277円で、歳入歳出差引額1877万2909

円を翌年度に繰り越すというものです。

○議案第69号 平成27年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は43万5586円、歳出決算額は8万8320円で、歳入歳出差引額34万7266円を翌年度に繰り越すというものです。

○議案第74号 平成27年度魚沼地域胃集団検診協議会会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は2億1348万9367円、歳出決算額は2億1204万4085円で、歳入歳出差引額144万5282円を小千谷市に承継するというものです。

○議案第75号 小千谷市道路線の認定について

本案は、上ノ山内1路線、信濃町地内1路線の計2路線を市道に認定するものです。

○請願第2号 新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する請願

本請願は、新潟水俣病全被害者の救済と、国・加害企業等が問題解決に向けて、早急に取り組みよう求める意見書を国会並びに政府に提出していただきたいというものです。

議会中継

市議会本会議はホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。(録画映像は本会議終了後、通常、休日(土日・祝祭日等)を除く5日後から1年間ご覧いただけます。)

パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

[\[URL\] http:// www.city.ojiya.niigata.jp/](http://www.city.ojiya.niigata.jp/)

市政の内容を聞く 一般質問

公共施設等総合管理計画・森林振興

駒井 和彦 議員

質問 総合管理計画の方向性と取り組みの概要について。

答弁 固定資産台帳整備と人口ビジョンの数値と合わせ、今年度中の算定を予定している。

質問 施設を賢く使うことについて。

答弁 有効利用をあらゆる角度から検討していく。

質問 白山運動公園の整備計画について。

教育長答弁 スポーツ関係者等幅広く話を聞き、計画的整備を進める。

質問 おぢやっく体育館を格闘系スポーツの強化施設にしては。

教育長答弁 スポーツに限らず、幅広い利用を考えている。

質問 市主催行事の見直しの考え方について。

答弁 実行委員会で課題等出れば検討されるべきものと考ええる。

質問 森林振興の考え方は。

答弁 議員指摘の重要性は同感、今後もその大切さをPRする。

質問 未利用間伐材による木質バイオマス発電の考えについて。

答弁 間伐材の保有がないので考えていない。

質問 山本山の牧場有刺鉄線の撤去について。

回答 今後、研究、検討する。

質問 環境教育等の取り組みと今後について。

教育長答弁 おぢやっく教育プランに沿い、自然と関わる教育を進める。

質問 おぢやっく拠点のトレッキングコース整備や市民山岳マ

ラソン開催の提案について。

答弁 提案も含め検討する。

質問 山本山の5年後、10年後の開発ビジョンについて。

答弁 今後もさまざま検討し環境整備を進める。



岩沢ブナの森 杉並区民視察

地方創生総合戦略事業の取り組みについて

山賀 一雄 議員

質問 地方創生加速化交付金事業で認められた事業の大半は、

委託料や負担金・補助金であるが、事業効果があると見込んでいるのか。

答弁 交付金対象事業は、事業採択条件に合致し、採択された事業であり、事業効果を発揮するものと認識している。

質問 地方創生推進交付金事業の第2弾の申請受付が9月下旬までとなっているが、どのよう

に取り組むのか。

答弁 総合計画、総合戦略に掲げる目的を達成するため、有効な事業を検討し、国・県と協議のうえ申請する考えである。

質問 計画期間の平成31年度までは、国の財政支援が見込まれるのか。

答弁 地域再生計画を策定・認定を受け、事業実施期間において、毎年度、交付申請することにより財政支援が受けられると理解している。

質問 総合戦略で掲げた他の事業は、計画期間中に新たに実施するのか。そして、それらの事業は、必ず地域再生計画を策定しなければならぬのか。また、事業は、計画期間だけではなく、期間後も起業展開に繋げるべきであると考えているが、どのように認識しているのか。

答弁 人口減少抑制対策は、喫緊の課題であり、目標達成のため、これらの事業は優先して実施、更には、市単独でも事業実施したいと考えている。また、総合戦略に記載のとおり産学官の連携を深め、産業の維持発展はもとより、新分野に展開する起業者、事業者の育成・支援に努める。

旧あきば荘の利用、原子力避難計画

佐藤 隆一 議員

質問 「小千谷市障がい者計画」、「障がい福祉計画」はどんな問題意識を持って作りましたか。また、地域自立支援協議会は、共生社会を進めるために、どのような課題を議論していますか。

答弁 障がいのある人の日常生活や社会生活を総合的に支援し、権利確保のために必要な配慮や調整を推進することを総合的な課題として作られました。自立支援協議会では、障がい児や親を支援する関係者を支援し、成長に合わせた途切れのない支援などについて議論しています。

また、親の高齢化に伴って、その人らしく暮らすには何が必要かなどを課題としています。

質問 9月下旬に旧あきば荘の見学会を企画します。これまで、市内外の障がい者団体が意思表示したものの、自己資金やエレベーター設備で断念したと聞きますが、何が問題なのでしょうか。

答弁 スプリンクラーやエレベーター設置など、設備投資に多額の費用がかかるため断念したと

理解しています。

質問 資金力の乏しいNPOに多額の設備費まで負担させるのは酷な話ではないですか。

答弁 施設の利用については前例に倣い、これまでと同様の利用条件でお願いしています。



旧あきば荘

質問 福島県三春町は、原発事故での被爆を最小限にするため、安定ヨウ素剤を独自に配布・服用指示を出し、副作用の症例もなかったようです。教訓点は何かお聞きします。

答弁 小千谷市内に分散備蓄するよう要請しています。三春町の判断は住民の安全を考慮したものと考えています。

病院跡地と胃がんリスク検診について

森本恵理子 議員

小千谷病院跡地利用について

質問 閉院後、新たな施設ができるまでの空白期間を助走期間と捉え、様々な施策を講じていく必要があると考える。その期間、活性化のために建物や土地を利用する予定があるか。

答弁 事業手法によっては新たな施設の整備に着手するまで、数年の期間を要する可能性がある。その場合、市民の様々な活動の場として暫定的に活用する方法も考え、検討していく。

質問 図書館以外の機能の検討が進んでいるか伺う。

答弁 庁内検討会議で検討中。

質問 胃がんリスク検診導入について

質問 胃がんは全国的に罹患率一位のがんであるが、当市においても同じような状況にあると思われる。胃がんの危険因子であるピロリ菌の有無は検査でしか判明しない。ピロリ菌の有無と胃の萎縮の程度を組み合わせて検査する胃がんリスク検診は多くの市町村で導入されてきており、検診受診率の飛躍的向上を見ている。また、行政が主体となることで罹患率の高い高齢者の方々にとって気軽に検査を受けやすい環境をつくることのできる。検査費用もバリウム検査に比べ安価であり、採血だ

けでできるため受診者の身体への負担も少ない。当市においても早急に取り組みべき人口減少対策の一つとなりうると考える。当市における胃がんリスク検診導入の見解について伺う。

答弁 費用対効果や検診の有効性について認識している。今後、地域医師会と協議を進め、精密検査が必要となった際の胃カメラ検査の実施体制を整えば導入していきたい。



小千谷総合病院

福祉避難所や自主防災組織について

住安 康一 議員

質問 福祉避難所を設置、運営する場合、要配慮者に対応できるようにする人材の確保はどのようになっているのか。

答弁 支援人材については、要配慮者に対する専門的な知識を有する人材で対応する。

質問 災害時の協定において、福祉人材の確保をはじめ、様々な分野での協定も必要では。

答弁 災害時には福祉関係の人材や受け入れ施設の不足が懸念される。必要により検討したい。

質問 自主防災組織役員の短期入れ替わりに対する対応は。

答弁 自主防災組織リーダー研修会を実施することで支援する。

質問 避難行動要支援者の不同意者名簿の方への避難対応はどのうあるべきか。

答弁 災害時など、避難行動要支援者の生命、または身体を災害から保護するため、不同意者名簿についても自主防災会等の避難支援者へ提供できる。可能な範囲で安否確認を行い、必要により避難支援をお願いしたい。



ダンボール製授乳室

質問 防災士取得費用の助成は。

答弁 1名分を計上。受験者がいない。防災士の役割や必要性を更に周知・広報する。

質問 避難に重要な主要市道において、避難道路の陥没を未然に防ぐためにも、路面下の空洞調査をすべきであり、県道や国道においても空洞調査の依頼を要望すべきと考えるが。

答弁 今後、研究する。

質問 災害時に、避難所へのペト同行避難が今までもよりも容易にできる環境づくりについて。

答弁 あらかじめペトスペースの確保は考えていない。避難所運営委員会で、飼育場所やルールを決定し、周知徹底する。

小千谷市の将来展望について

阿部 正行 議員

質問 財政について

答弁 自主財源確保に関して市税収入は極めて重要であり、第五次総合計画、総合戦略の目標達成のため、生産基盤の充実や住環境整備に努める。

質問 人口減少対策について

答弁 総合戦略において少子化、高齢化に対応し活力ある社会を

維持するため、転入、転出、U・Iターンの促進や婚活事業や子育て支援の充実に努める。

質問 定住自立圏について

答弁 長岡市を中心に4市町の取り組みであり、単独では困難な事業を積極的に実施し、特に救急医療体制の充実や公共施設の相互利用等連携しながら推進する。

質問 市民協働について

答弁 これからのまちづくりには市民と行政が両輪になる必要がある。震災以降地域を持続し輝かせるため市民自ら取り組んでいる団体が多数あり、まちづくり活動補助金等により市民の自発的活動を支援していきたい。

質問

中心市街地の活性化について

答弁 総合計画基本計画において拠点施設としてにぎわいを創出する新たな都市機能をもった施設整備に努める。現在図書館を核として庁内で検討している。

質問

地方自治体の役割と将来展望について

答弁 今年度からの第五次総合計画前期基本計画を着実に実施し都市像「ひと・技・自然」暮らしで実感 地域の宝が輝くまち おぢや」を目指す。

農業生産工程管理（GAP）の導入について

田中 淳 議員

質問 この適正農業規範（GAP）の動きに対して、当市の農業政策での考えをお聞かせ下さい。

答弁 小千谷産農作物をブランド化して商品価値を高めるためには、GAPのような規範が重要であり、当市としても関係機関と連携しながらその取り組みを推進していく必要があると考えている。

質問 当市においては、この規範を導入している農事組合法人もあるが、この法人に限らず目指しているものは何かを、具体的な内容を含めお聞かせ下さい。

答弁 現在は、世界中で貿易の自由化が進み、農作物の国際取引が加速する中で、「食の安全と持続可能な生産管理」が求められている。したがって、今後はこれらの認証がないと海外に限らず国内においても取引が難しくなっていくことが考えられる。

質問 2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックへの地元産農作物の売り込みに向けて、この規範は必要不可欠と考えるが、JAを含め積極的導入の考えについてお聞かせ下さい。

答弁 東京オリンピック・パラリンピックにおいては、安全で品質の高い食品を提供することが求められ、国際的に通用するGAPの認証を取得した農作物のみが食材として採用されることも考えられる。市としては、しっかりとした生産工程管理された農作物を増やしていく事が大切と考え、東京オリンピック・パラリンピックはその通過点と考えている。農作物に求められる規格をJAなどと協力しながら情報収集していきたい。

欠と考えるが、JAを含め積極的導入の考えについてお聞かせ下さい。

質問 東京オリンピック・パラリンピックにおいては、安全で品質の高い食品を提供することが求められ、国際的に通用するGAPの認証を取得した農作物のみが食材として採用されることも考えられる。市としては、しっかりとした生産工程管理された農作物を増やしていく事が大切と考え、東京オリンピック・パラリンピックはその通過点と考えている。農作物に求められる規格をJAなどと協力しながら情報収集していきたい。

質問 建築関連業者の間では仕事がなく大変という声がかつていて、住宅リフォーム補助制度は業者も利用者にも好評だった。制度を復活させ、継続していく必要があるのではないか。

答弁 経済対策は適切な時期に行うことが肝要。財源を含め今後の経済状況により判断したい。

質問 農業、農村の危機的状況に追い打ちをかけようとしているのがTPPだ。為替の変動を見ても輸出でのメリットは全く期待できない。政府は、早期批准を目指しているといわれているが、黒塗りの資料のまま審議などできない。政府に異議を唱



雪対策、住宅リフォーム、TPPについて他

内山 博志 議員

質問 人口減少が進む中、消費

パイプに係る経費の負担増が懸念される。軽減が急がれると思うが、また、流雪溝への雪入れで苦勞する高齢者が増えているため支援策が必要と思うが。

質問 設備の有無による地域のバランスや健全財政のために現在の仕組みを継続していく。高齢者対応型投雪口設置を進めてきた。財源は無限ではないので、公助で対応できないところはSOS雪おろし支援事業などの自助・共助に頼らざるを得ない。今後は、共助の取り組みを支援することを検討したい。

質問 特別支援教育について、障がいのある子どもの今後の推移はどうか。「特別支援学校」の教員免許保有率を上げるべきではないか。

教育長答弁 増加傾向にある。特別支援学校教諭免許保有率の増加に県教委と連携し、努力したい。今後も研修を実施していく。

質問 観光等の方向性と共に生きる社会の実現

長谷川有理 議員

質問 市民総参加花火募金の減少やマイ花火の少ない実態、よし太君の出番なし等、おぢやまつりの成果と課題の検証を。



えるべきだ。
答弁 国政の場で大いに議論すべきと考える。

観光等の方向性と共に生きる社会の実現

長谷川有理 議員

答弁 おぢやまつり実行委員会ですまず議論していただきたい。

質問 市は毎年450万円支出しており、市長として思うことはないのか。委員会メンバーも圧倒的に男性ばかりの構成。参加者層のニーズをつかめる委員構成になっているのか。

答弁 私が実行委員会会長で、実行委員長が運営している。私があ今の時点で総括するのは早いと思う。議員の提言は伝える。

質問 おぢやの活用を。せっかくの水力発電館。施設の電気や周辺電灯を水力発電で100%賄うことや子どもが遊べる水を使用する設備やイベントの開催を行い、魅力アップを。

答弁 JRの水力発電は旅客運送で許可されており水力館での使用はできないとのJR東日本の答え。今後も話はしてみる。

質問 今秋のSL運行は長時間停車は小千谷駅に11月20日に20分停車するのみ。岩沢駅、内ヶ巻駅は停車しない。うまさぎつしり新潟キャンペーンも含め、十日町市の共生策と比べ当市はJR東日本と連携やアピールができてくるのか。しっかりと具体的連携を図るべき。

教育長答弁 当市は十日町に比べればPR・具体策も不足している。努力していく。

質問 相模原の障がい者施設での大量殺人事件で多くの市民がショックを受けた。共生社会の実現に向け市長としてメッセージを発してほしい。

答弁 全ての社会的事象にメッセージを発するのは、難しい。



世界農業遺産について

佐藤 栄作 議員

質問 世界農業遺産の認定に向けて錦鯉の他に何を対象とするのか。

答弁 申請に当たっては、「錦鯉発祥の地」である旧二十村郷が置かれた「地すべり・豪雪」などの過酷な環境とそれを克服するための先人の知恵である「棚田・棚地」「横井戸」「手掘り隧道」「錦鯉」「牛の角突き」など、この地域に見られる文化・社会・

歴史的価値、美しい景観を併せて、一連のシステムを組み立てることになります。

質問 地域は小千谷市単独でやるのか。

答弁 平成27年10月23日に長岡市と共に、長岡・小千谷「錦鯉発祥の地」活性化協議会を設立し、長岡市と共にこの協議会として申請するものであります。

質問 認定の時期の設定はいつ頃か。

答弁 9月末までに申請し、年度末頃に決定されると考えられます。

質問 認定に向けて専属職員を置くのか。

答弁 長岡市と協力しながら農林課の職員で対応している。

げていきたいと考えております。



山本山高原山頂整備、空き家対策について

本田 剛 議員

質問 山本山山頂には以前水道場があり、キャンプなど炊事ができる状態の設備があったが、水道場の復旧はできないか。

答弁 水質の安定と環境衛生上良好な状態の維持は難しいと判断し、現在は飲用ではなく手洗い用として使用していただいている。飲用水供給用として、使い方や使用量の面から水道の復旧を検討する。

質問 山頂まで車で行かれ環境も良い自然のなかで、子どもを遊ばせる最高の場所に遊具の設置を。

答弁 遊具については「おぢやる」に貸出用を備えているの

で活用していただきたい。山頂に設置する予定はない。

質問 山頂にある休憩所を開放してほしい。散策などに行つたとき、いつでも気軽に屋内で休める場として、使用できないものか。

答弁 管理組合が施錠し管理しており、利用申し込みに合わせて鍵を開け利用してもらっている。今後はもっと気軽に利用できるよう、利用方法の周知を行いたい。

質問 小千谷市旭橋西側・本町元町交差点に、空き家が2軒あり、年々破損し危険でもあり、中越地震からそのままであります。何か対策は考えているのか、所有者への行政指導等をしてきたのか。

答弁 当市としては、所有者へは状況の連絡と今後の管理を文書で指導した。引き続き所有者の責任で適切に管理するよう指導していく。



山本山山頂

